名稱

右二首〇一首略那賀郡〇常陸上丁大舍人部千文

〔冠辭考一〕あられふり（かしまのさき　きしみがたけ　とほつあぶみ　とほつおほうら）

あられふりて、音のかしましといひかけたり、

〔萬葉集十一古今相聞往來歌類〕寄物陳思

霰零（アラレフリ）、遠津大浦爾（トホツ、オホウラニ）、緣浪（ヨスルナミ）、縱毛依（ヨシモ）十方（ヨスト）、憎不有君（モニクカラナクニ）、

〔萬葉集七雜歌〕旋頭歌

丸雪降（アラレフリ）、遠江（トホツアフミノ）、吾跡川楊（アトカハヤナギカレ）、雖苅（ドモマタモオフチフ）、亦生云（アトカハヤナギ）、余跡川楊（アトカハヤナギ）、

〔堀川院御時百首和歌冬〕霰

道たえて人もたづねぬ槇の戸に冬の夜すがらあられをとなふ　右兵衛督師賴

〔新撰六帖一〕あられ　行家

かりを田の鴫のうはげにふるあられたまして鳥をうつかとぞみる

〔金槐和歌集冬〕霰

ものゝふの矢なみつくろふ小手の上に霰たばしる那須の篠原

〔枕草子十〕ふるものは　あられは板屋

## 雹

雹ハ舊クアラレト云ヒ、後ニヒヤウト云フ、霰ノ夏月ニ降ルモノナリ、

〔新撰字鏡雨〕雹零（同波角反、霖也、志久禮、又阿良禮、）

〔倭名類聚抄一風雪〕雹　陸詞云、雹雨冰也、補角反、（和名安良禮）